

■新旧対照表 (意見等のうち計画等の案を修正した件数：2件)

【No. 1 の修正】

No.	頁	行 図表	新	旧	備考
1	奥 付		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>小樽市立地適正化計画 基本方針骨子</b></p> <p>小樽市建設部都市計画課 〒047-0024 小樽市花園5丁目10番1号 TEL:(0134)32-4111(7332) FAX:(0134)32-3963 E-Mail:tosikei@city.otaru.lg.jp <a href="https://www.city.otaru.lg.jp/">https://www.city.otaru.lg.jp/</a></p> </div>	(なし)	<p><b>【追加】</b> 御意見のとおり最終頁に担当部署等を記載する。</p>

【No. 1 2の修正】

No.	頁	行 図表	新	旧	備考																				
12	9	上段  右側  拠点分類表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>高次地域拠点</th> <th>広域連携交流拠点</th> <th>地域拠点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南小樽駅周辺地区 小樽築港駅周辺地区</td> <td>⑩新小樽（仮称）駅 周辺地区</td> <td>③長橋地区 ⑤手宮 ⑦緑地区 ⑪桜地 ⑫新光地区 ⑬銭函</td> </tr> <tr> <td>市立病院や大型商業施 などの<b>高次の都市機能</b> 立地し、<b>主要な交通結</b> <b>機能</b>を有した居住者や 訪者等の<b>利便性の確保</b> 寄与する<b>中心拠点の機</b> <b>能を補完する拠点</b></td> <td>・北海道新幹線の札幌 延伸に伴い、道内外を 結ぶ<b>本市の新たな広域</b> <b>的な玄関口</b>として、居 住者や来訪者等の<b>利便</b> <b>性の確保に寄与する中</b> <b>心拠点や高次地域拠点</b> <b>の機能を補完する拠点</b></td> <td>・スーパーやコンビニ ストア等の商業、内科 の医療、子育て、金融 の<b>生活サービス機能が一</b> <b>まとまって立地し、中</b> <b>等と利便性の高い公共</b> <b>結ばれた、地域内にお</b> <b>常生活の中心的な役割</b> <b>す拠点</b></td> </tr> </tbody> </table>	高次地域拠点	広域連携交流拠点	地域拠点	南小樽駅周辺地区 小樽築港駅周辺地区	⑩新小樽（仮称）駅 周辺地区	③長橋地区 ⑤手宮 ⑦緑地区 ⑪桜地 ⑫新光地区 ⑬銭函	市立病院や大型商業施 などの <b>高次の都市機能</b> 立地し、 <b>主要な交通結</b> <b>機能</b> を有した居住者や 訪者等の <b>利便性の確保</b> 寄与する <b>中心拠点の機</b> <b>能を補完する拠点</b>	・北海道新幹線の札幌 延伸に伴い、道内外を 結ぶ <b>本市の新たな広域</b> <b>的な玄関口</b> として、居 住者や来訪者等の <b>利便</b> <b>性の確保に寄与する中</b> <b>心拠点や高次地域拠点</b> <b>の機能を補完する拠点</b>	・スーパーやコンビニ ストア等の商業、内科 の医療、子育て、金融 の <b>生活サービス機能が一</b> <b>まとまって立地し、中</b> <b>等と利便性の高い公共</b> <b>結ばれた、地域内にお</b> <b>常生活の中心的な役割</b> <b>す拠点</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>高次地域拠点</th> <th>広域連携交流拠点</th> <th>地域拠点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南小樽駅周辺地区 小樽築港駅周辺地区</td> <td>⑩新小樽駅周辺地区</td> <td>③長橋地区 ⑤手宮 ⑦緑地区 ⑪桜地 ⑫新光地区 ⑬銭函</td> </tr> <tr> <td>市立病院や大型商業施 などの<b>高次の都市機能</b> 立地し、<b>主要な交通結</b> <b>機能</b>を有した居住者や 訪者等の<b>利便性の確保</b> 寄与する<b>中心拠点の機</b> <b>能を補完する拠点</b></td> <td>・北海道新幹線の札幌 延伸に伴い、道内外を 結ぶ<b>本市の新たな広域</b> <b>的な玄関口</b>として、居 住者や来訪者等の<b>利便</b> <b>性の確保に寄与する中</b> <b>心拠点や高次地域拠点</b> <b>の機能を補完する拠点</b></td> <td>・スーパーやコンビニ ストア等の商業、内科 の医療、子育て、金融 の<b>生活サービス機能が一</b> <b>まとまって立地し、中</b> <b>等と利便性の高い公共</b> <b>結ばれた、地域内にお</b> <b>常生活の中心的な役割</b> <b>す拠点</b></td> </tr> </tbody> </table>	高次地域拠点	広域連携交流拠点	地域拠点	南小樽駅周辺地区 小樽築港駅周辺地区	⑩新小樽駅周辺地区	③長橋地区 ⑤手宮 ⑦緑地区 ⑪桜地 ⑫新光地区 ⑬銭函	市立病院や大型商業施 などの <b>高次の都市機能</b> 立地し、 <b>主要な交通結</b> <b>機能</b> を有した居住者や 訪者等の <b>利便性の確保</b> 寄与する <b>中心拠点の機</b> <b>能を補完する拠点</b>	・北海道新幹線の札幌 延伸に伴い、道内外を 結ぶ <b>本市の新たな広域</b> <b>的な玄関口</b> として、居 住者や来訪者等の <b>利便</b> <b>性の確保に寄与する中</b> <b>心拠点や高次地域拠点</b> <b>の機能を補完する拠点</b>	・スーパーやコンビニ ストア等の商業、内科 の医療、子育て、金融 の <b>生活サービス機能が一</b> <b>まとまって立地し、中</b> <b>等と利便性の高い公共</b> <b>結ばれた、地域内にお</b> <b>常生活の中心的な役割</b> <b>す拠点</b>	<p>【修正】 記載の混在を修正し、新小樽（仮称）駅周辺に統一する。</p>		
高次地域拠点	広域連携交流拠点	地域拠点																							
南小樽駅周辺地区 小樽築港駅周辺地区	⑩新小樽（仮称）駅 周辺地区	③長橋地区 ⑤手宮 ⑦緑地区 ⑪桜地 ⑫新光地区 ⑬銭函																							
市立病院や大型商業施 などの <b>高次の都市機能</b> 立地し、 <b>主要な交通結</b> <b>機能</b> を有した居住者や 訪者等の <b>利便性の確保</b> 寄与する <b>中心拠点の機</b> <b>能を補完する拠点</b>	・北海道新幹線の札幌 延伸に伴い、道内外を 結ぶ <b>本市の新たな広域</b> <b>的な玄関口</b> として、居 住者や来訪者等の <b>利便</b> <b>性の確保に寄与する中</b> <b>心拠点や高次地域拠点</b> <b>の機能を補完する拠点</b>	・スーパーやコンビニ ストア等の商業、内科 の医療、子育て、金融 の <b>生活サービス機能が一</b> <b>まとまって立地し、中</b> <b>等と利便性の高い公共</b> <b>結ばれた、地域内にお</b> <b>常生活の中心的な役割</b> <b>す拠点</b>																							
高次地域拠点	広域連携交流拠点	地域拠点																							
南小樽駅周辺地区 小樽築港駅周辺地区	⑩新小樽駅周辺地区	③長橋地区 ⑤手宮 ⑦緑地区 ⑪桜地 ⑫新光地区 ⑬銭函																							
市立病院や大型商業施 などの <b>高次の都市機能</b> 立地し、 <b>主要な交通結</b> <b>機能</b> を有した居住者や 訪者等の <b>利便性の確保</b> 寄与する <b>中心拠点の機</b> <b>能を補完する拠点</b>	・北海道新幹線の札幌 延伸に伴い、道内外を 結ぶ <b>本市の新たな広域</b> <b>的な玄関口</b> として、居 住者や来訪者等の <b>利便</b> <b>性の確保に寄与する中</b> <b>心拠点や高次地域拠点</b> <b>の機能を補完する拠点</b>	・スーパーやコンビニ ストア等の商業、内科 の医療、子育て、金融 の <b>生活サービス機能が一</b> <b>まとまって立地し、中</b> <b>等と利便性の高い公共</b> <b>結ばれた、地域内にお</b> <b>常生活の中心的な役割</b> <b>す拠点</b>																							
12	9	下段  左側  公共交通機関 運行状況図	<p>凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>J R 線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60本/日</td> <td>片道60本/日以上</td> </tr> <tr> <td>30本/日 60本/日</td> <td>片道30本/日以上60本/日未満</td> </tr> <tr> <td>30本/日</td> <td>片道30本/日未満</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>J R 駅</td> </tr> </tbody> </table> <p>※バス路線：令和4年3月現在(北海道中央バスHP) ※J R 線：令和4年1月現在 (J R北海道HP) ※バス路線、J R 線とも市内各地から、小樽駅方面に向かう便の片道の本数を計上</p>	路線	J R 線	60本/日	片道60本/日以上	30本/日 60本/日	片道30本/日以上60本/日未満	30本/日	片道30本/日未満	○	J R 駅	<p>凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>J R 線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60本/日</td> <td>片道60本/日以上</td> </tr> <tr> <td>30本/日 60本/日</td> <td>片道30本/日以上60本/日未満</td> </tr> <tr> <td>30本/日</td> <td>片道30本/日未満</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>J R 駅</td> </tr> </tbody> </table> <p>※バス路線：令和4年3月現在(北海道中央バスHP) ※J R 線：令和4年1月現在 (J R北海道HP) ※バス路線、J R 線とも市内各地から、小樽駅方面に向かう便の片道の本数を計上</p>	路線	J R 線	60本/日	片道60本/日以上	30本/日 60本/日	片道30本/日以上60本/日未満	30本/日	片道30本/日未満	○	J R 駅	<p>【修正】 記載の混在を修正し、新小樽（仮称）駅周辺に統一する。</p>
路線	J R 線																								
60本/日	片道60本/日以上																								
30本/日 60本/日	片道30本/日以上60本/日未満																								
30本/日	片道30本/日未満																								
○	J R 駅																								
路線	J R 線																								
60本/日	片道60本/日以上																								
30本/日 60本/日	片道30本/日以上60本/日未満																								
30本/日	片道30本/日未満																								
○	J R 駅																								

【No. 1 2の修正】

No.	頁	行 図表	新	旧	備考
12	9	上段  右側  拠点分類表	<p>基幹的公共交通軸図</p> <p>並行在来線の廃止に伴う拠点間を結ぶ新たな公共交通軸（バス・道道小樽環状線経由）</p> <p>新小樽（仮称）駅周辺</p>	<p>基幹的公共交通軸図</p> <p>並行在来線の廃止に伴う拠点間を結ぶ新たな公共交通軸（バス・道道小樽環状線経由）</p> <p>新小樽駅周辺</p>	<p>【修正】 記載の混在を修正し、新小樽（仮称）駅周辺に統一する。</p>
12	10	公共交通機関 運行状況図	<p>都市の骨格構造図</p> <p>●本計画の計画期間は概ね20年後としていますが、その先の将来を考慮し持続可能な都市の発展を今後も支えるため必要となる「都市の骨格構造」を示したものです。</p>	<p>都市の骨格構造図</p> <p>●本計画の計画期間は概ね20年後としていますが、その先の将来を考慮し持続可能な都市の発展を今後も支えるため必要となる「都市の骨格構造」を示したものです。</p>	<p>【修正】 記載の混在を修正し、新小樽（仮称）駅周辺に統一する。</p>